

## インタビュー

**種原自治会女性会**  
代表 森田知津子さん

この交流の場を利用し、集落全体を元気にしたいです。利用者自らが率先して運営に参加してくださり、いい流れができつつあります。支え合いの取り組みをとおしてにぎわいのある継続的な地域づくりを進めていきます。



▲昼食会に心のこもった“ごちそう”が並びました

## インタビュー

**交流の場 大山みらい塾**  
塾長 遠藤道夫さん

今後10年、20年と地域・集落を支えている団塊の世代の力が落ち込んでいく波を災害と考えています。元気なうちに自らの居場所を自分で確保するための避難訓練をこの交流の場を通じ行いたいです。

少しずつ人の流れをつくり、この居場所を地域に定着させ、協力者を増やすことで継続できる体制作りを進めていきます。

◆問い合わせ先

企画情報課 未来づくり戦略室

☎ 0859-54-5202

FAX 0859-54-5216

# 地域住民が気軽に集える

## “交流の場”がオープン!

6月25日に開催された地域の支え愛・交流の場づくり研究会（広報「だいせん」8月号2ページ参照）をきっかけとして、地域住民の交流の場づくりの準備をされてきた種原集落と大山地区で先日、交流の場が開設されました。

**種原自治会女性会**

11月7日（水）、種原多目的研修集会所を活用し、子どもからお年寄りまで自由に集え

る居場所がオープンしました。この日は、種原自治会女性会により「なめこ汁」や「おでん」「大山おこわ」など昼食会に提供する料理が準備され、参加者約20人に振る舞われました。この交流の場は月曜日と木曜日の週2回、朝から昼ごろまで開放されています。

オープンから1ヶ月が経過し、昼間はお年寄りの方が立ち寄り、児童も含めて常時15人程度が利用されています。今後は、男の料理教室やそば打ち、映画の鑑賞会などのイベントが企画されています。

## 交流の場 大山みらい塾

12月1日（土）、坊領集

落の空き家（旧宮本商店跡地）を活用し、「交流の場 大山みらい塾」として、次世代の人材育成と地区住民との交流による地域活性化のための拠点がオープンしました。

この日は「大山そばを普及する会」から「大山かおりそば」と「焼き芋」が振る舞われ、地区内外から約50人が集われました。

から17時まで開放されています。  
ぜひ、お立ち寄りください。



▲「大山かおりそば」であたたまりました